

# 歴史から学ぶ防災2021

—命と文化遺産とを守る—



この事業は、「令和3年度文化庁地域と共創した博物館創造活動支援事業」によるものです。



富田川と彦五郎堤防(上富田町生馬)

明治22年水害絵図(長野八幡神社蔵)  
山すそ近くにあった社殿が流されそうになり、  
氏子7人が危険を冒して、御神体を避難させている様子を描く



彦五郎堤防に建てられた溺死霊魂碑前で毎年行われる慰霊祭(写真は2021年8月19日)



令和4年(2022)2月26日(土)

13時30分~16時30分  
上富田文化会館小ホール  
(西牟婁郡上富田町朝来758-1)



令和4年(2022)2月27日(日)

13時30分~16時30分  
田辺市立中部公民館大集会室  
(田辺市上屋敷1丁目2-1)

いずれも入場無料,事前申込み(上富田会場先着60人,田辺会場先着100人)

[詳しい内容は裏面をご覧ください]

お問い合わせ 和歌山県立博物館 073-436-8670  
お申込み 2月10日(木)9時30分から,電話にて申込みを受け付けます。

主催 和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会 和歌山県立博物館  
後援 田辺市 田辺市教育委員会 上富田町 上富田町教育委員会 文化財防災センター  
協力 和歌山県教育庁文化遺産課 和歌山県立文書館 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹



田辺洪波之図(田辺市立図書館蔵)  
会津川流域での安政地震津波の浸水域を示す

皆様安心してご参加いただくため、  
右記のご協力をお願いします。  
・原則マスクの着用  
・手指の消毒,検温  
・体調不良の方の参加見合せ  
・混雑を避けるための入場制限  
新型コロナウイルスの感染拡大状況等により,中止する場合があります。  
中止の場合,2月18日(金)以降に和歌山県立博物館のホームページでお知らせします。

# 歴史から学ぶ防災 2021

現地学習会

2月26日(土) 13時30分～16時30分 上富田文化会館小ホール

[講演40分]

[報告各20分]

講演	◆ 紀伊半島・富田川流域の土砂災害	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構	井上 公夫
報告1	◆ 円鏡寺に残された富田川災害記 — 土砂ダムの恐怖を伝える —	和歌山大学	橋本 唯子
.....【休憩】.....			
報告2	◆ 富田川に刻む130年の歴史 — 語り伝える大水害の記憶 —	和歌山大学	鈴木 裕範
報告3	◆ 龍松山城跡と山本氏	和歌山県立紀伊風土記の丘	田中 元浩
報告4	◆ 興禅寺所蔵の文化財について	和歌山県立博物館	新井 美那

2月27日(日) 13時30分～16時30分 田辺市立中部公民館大集会室

[報告各20分]

報告1	◆ 田辺市に残る災害の記録 — 近代文化遺産を中心に —	田辺市教育委員会	玉置 梨沙
報告2	◆ 1707年宝永地震津波と1715年会津川洪水 — 田辺城下町・江川の被害と防災対策を中心に —	和歌山県立博物館	前田 正明
報告3	◆ 1854年安政地震津波の記憶	和歌山県立文書館	藤 隆宏
.....【休憩】.....			
報告4	◆ 郡役所の生字引,明治22年大水害を記録する — 字井可道『璞屋随筆』から —	和歌山県立文書館	砂川 佳子
報告5	◆ 田辺市鮎川・中之俣川の明治22年の氾濫と水害節	和歌山大学	吉村 旭輝
報告6	◆ 明治と平成の大水害の記憶と教訓	和歌山大学	後 誠介

報告のあと,参加者との質疑応答を行います。

## 和歌山県立博物館で行われる展覧会

1月29日(土)～3月6日(日)

企画展「仏像は地域とともに —みんなで守る文化財—」

3月12日(土)～4月17日(日)

和歌祭創始400年記念 企画展「和歌祭と和歌の浦」

## 同時開催 常設展「きのくにの歩み —人々の生活と文化—」

ご来館いただいた方で,ご希望される方には,これまで発行した小冊子(『先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝える』)を無料でお渡しします。但し,在庫があるものに限ります。

